

様式 2

全学共通教育についての自己点検・評価報告書（教育部会用）

教育部会名：「人間と社会」

部長名：長谷川孝治

作成者名：長谷川孝治

概要（2000字）

「人間と社会」教育部会は、地理学、社会学、文化人類学、社会思想史、教育学、環境学等の多様な分野から構成されるが、全体として教育の目的を従前から十分に達成してきており、かつ法人化以後はさらに質を向上させてきている。

今回の自己点検・評価報告でも、担当教員のほぼ全員に相当する 17 名から総計 25 科目の授業科目について点検・評価作業の結果報告を受け、この点からも教員の教育に対する意識が極めて高いことが実証されているといえる（添付資料参照。この他ファイル解読不能のため集計に反映できなかった報告 1 件有り）。

個別の評価項目についての概要は以下の通りである。

- (1) 授業内容が基礎となる研究の成果を反映したものとなっているか、については、シラバスの講義概要にそれぞれ明記されるように、各授業科目における最先端の研究成果を学生に理解させることを各授業の目的としており、そのために多様な資料を配布プリントやパワーポイントで提示するだけでなく、ビデオ、OHP、OHC 等の情報機器を活用している。
- (2) 単位の実質化に関しては、各科目において出欠や学期末試験のみならず、時間内にレポートや小テスト、感想文を課すことにより、学生の理解度、反応、意見をきめ細かくチェックする工夫がなされている。こうした多様な評価項目で単位の実質化は十分に達成されているといえる。
- (3) 教育の目的に照らしての授業形態の組合せ・バランス及びそれぞれの教育内容に対する適切な学習指導法の工夫に関しては、授業科目の多様性に応じて、パワーポイント、OHP、OHC、ビデオ等多彩な情報メディアを駆使して指導方法を工夫している。また多人数の授業では、レポート、感想文などで学生の理解度、意見を絶えずチェックし、さらにプリント配布、機器設定などに T A を積極的に活用している。
- (4) 成績評価基準に従った成績評価、単位認定については、シラバスに明記してある出欠、レポート、試験等の成績評価基準とその配分割合に応じて、出欠確認、定期試験、小テスト、レポート等を厳格に実施し、成績評価、単位認定を適切に実施している。
- (5) 授業評価等から判断しての教育の成果や効果に関しては、学生授業評価において、ほとんどの科目が 5 点満点で 3.5 以上の評価を受けており、さらに一部科目は 4.5 以上の高評価であり、教育の成果や効果は十二分に上がっていることが証明されている。

以上の観点からして、「人間と社会」教育部会の各授業科目では、教育の目的を十二分に達成し、さらに質的向上への努力を継続している、と結論づけることができる。

様式 2 (続き)

項目・観点ごとの記述

基準 5 教育内容及び方法

5-1-②: 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿ったものになっているか。

(観点に係る状況)

根拠資料

5-1-③: 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究の成果を反映したものとなっているか。

(観点に係る状況) はい: 講義概要に明記されるように、各授業科目における最先端の研究成果を学生に理解させることを目的としており、そのために多様な資料や情報機器を活用している。

根拠資料: シラバス、教科書、配布プリント、パワーポイント(スライド)、音声・映像資料(テープ、OHP・OHCシート等)など。

5-1-⑤: 単位の実質化への配慮がなされているか。

(観点に係る状況) はい: 出欠や学期末試験のみならず、時間内にレポートや小テスト、感想文を課すことにより、学生の理解度、反応、意見をきめ細かくチェックする体制が整っている。

根拠資料: シラバス、出欠簿、小テスト、授業時間内レポート、授業感想文など。

5-2-①: 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。(例えば、少人数授業、対話・討論型授業、フィールド型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、情報機器の活用、TAの活用が考えられる。)

(観点に係る状況) はい: 授業科目の多様性に応じて、多彩な情報メディアを駆使して指導方法を工夫し、また大人数授業では、レポート、感想文などで学生の理解度、意見を絶えずチェックし、さらにプリント配布、機器設定などにTAを活用している。

根拠資料: パワーポイント、OHP・OHC、ビデオ等多様なメディア、TA採用一覧、レポート、授業感想文など。

5-2-③： 自主学習への配慮，基礎学力不足の学生への配慮等が組織的に行われているか。
(観点に係る状況)

根拠資料

5-3-②： 成績評価基準に従って，成績評価，単位認定が適切に実施されているか。
(観点に係る状況) はい：シラバスに明記してある出欠、レポート、試験等の成績評価基準に応じて、厳密に成績評価、単位認定を実施している。

根拠資料：出欠簿、定期試験答案用紙、小テスト用紙、レポート

基準6 教育の成果

6-1-③： 授業評価等，学生からの意見聴取の結果から判断して，教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況) はい：学生授業評価において、ほとんどの科目が5点満点で3.5以上の評価を受けており、さらに一部科目は4.5以上の高評価であり、教育の成果や効果は十二分に上がっているといえる。

根拠資料：学生授業評価、感想文

基準7 学生支援等

7-1-②： 学習相談，助言（例えば，オフィスアワーの設定，電子メールの活用，担任制等が考えられる。）が適切に行われているか。

(観点に係る状況)

根拠資料